

◇編集後記◇

私が JOH・産衛誌の副編集委員長を担当させていただき、ほぼ1年が過ぎようとしています。当初は、2週間毎の編集小委員会の開催に戸惑いもありましたが、どうにか慣れてしまいました。多少周りも見えるようになってきて、あらためて感じるのは産衛誌が薄いことです。これは、JOHとの分冊化に伴い、ある程度しかたないことですが、それでも何とかしたいものです。ご存じのように JOH は、産業保健の学術的特徴を前面に出しており、インパクトファクターを有することも相まって、アジア、米国、EU を始め世界各国から多くの投稿があり、おかげさまで世界的産業保健雑誌の仲間入りをしたと言っても過言ではありません。一方、産衛誌の役割となると、国際的学術誌の部分で JOH が受け継いだため、国内の広報誌としての色彩が強いのではないかと個人的に思います。投稿論文以外に地方会や研究会の抄録、理事会報告、学会の広報、許容濃度等の勧告などが主な内容です。編集小委員会でも、どのようにすれば活性化するか、たびたび議論されています。そのひとつとして、連載を企画していますので、ご期待下さい。しかし、さ

らなる活性化が必要だと思います。学術的な記事ももちろん大事ですが、それだけではなく、何かインパクトのあるものはないか？ たとえば、すぐに役立つ実践的な記事、社会的トピック、ガイドラインの解説、日常にかかえる産業保健上の問題提示と解決策の症例呈示など、皆さんの関心をもつものは何かを日々考えている次第です。やはり、真に活性化させるためには、会員の方々の協力が必要です。従来の枠組みにとらわれず、みんなで意見を出し合い雑誌を作り上げていく方向性（意識の改革？）が必要になってくると思います。福岡で開催される第82回日本産業衛生学会では、川上編集委員長と雑誌を語る会も予定しています。最終日（5月22日）の夕方に、時間も2時間とたっぷりあります。是非とも多くの方々の参加を期待しておりますし、雑誌のあり方について大いに語っていただきたいと思います。

先日、テレビで“必殺仕事人”をみたら、主役のほとんどがジャニーズでした。大きく様変わりしているのは、びっくりしました。Change! 大事ですね。

(森本泰夫)

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：川上憲人（東京大）

副委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大）、井上和男（東京大）、上島通浩（名古屋大）、
車谷典男（奈良医大）、堤 明純（産業医大）、森 満（札幌医大）、森本泰夫（産業医大）

有澤孝吉（徳島大）、石竹達也（久留米大）、市場正良（佐賀大）、小笹晃太郎（京都府医大）、掛本知里（東京女子医大）、川口陽子（東京医歯大）、熊谷信二（大阪府公衛研）、黒沢洋一（鳥取大）、河野公一（大阪医大）、酒井一博（労働科学研）、榊原久孝（名古屋大）、澤田晋一（独法労働安全衛生総研）、塩飽邦憲（島根大）、菅沼成文（高知大）、笠島 茂（国立保健医療科学院）、埴田和史（滋賀医大）、竹内 亨（鹿児島大）、田中昭代（九州大）、谷川 武（愛媛大）、土井由利子（国立保健医療科学院）、中尾睦宏（帝京大）、橋本英樹（東京大）、馬場園明（九州大）、濱田篤郎（海外勤務健康管理センター）、福島哲仁（福島医大）、丸山総一郎（神戸親和女子大）、三木明子（筑波大）、村田勝敬（秋田大）、森河裕子（金沢医大）、八幡勝也（産業医大）、吉田貴彦（旭川医大）、若林一郎（兵庫医大）、渡辺博且（産業医大）

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番